

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
名古屋動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和6年度学校関係者評価委員会

<委員>

山口 常夫氏 一般社団法人 全日本犬訓練士連合協会 理事
西川 明香里氏 株式会社平成動物病院 副看護職長 卒業生

<事務局>

吉田 裕孝 名古屋動物専門学校 校長
吉野 輝昭 名古屋動物専門学校 教務部課長
赤木 啓嗣 名古屋動物専門学校 教務部課長
坂地 孝章 名古屋動物専門学校 教務部主査

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成を行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また、動物と関わる仕事およびビジネスマナーに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業や官公庁にも就職していることである。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>学校の将来について、現状では3～5年にかけては拡大戦略を立てず、既存</p>

	<p>の学校の内容充実に努めるべきとの結論に達している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入していることにより、明るく楽しい学園生活と、資格取得実績、検定試験合格実績、民間企業就職実績を両立している。</p> <p>この基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>学園の基本目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げており、教員室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。また、就業規則、育児休業規程、介護休業規程、母性健康管理のための休暇規程、給与規程、法令遵守規程、ストレスチェック制度規程、ハラスメント防止規程などの諸規程が整備されている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>昨今の雇用情勢を受け、採用計画に基づいた必要な人材を確保することが困難となっているため、待遇等の採用条件を見直す必要がある。また、新入職員研修、教職員研修、自己啓発研修、副担任制度などで人材育成に努めている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は学園本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議、といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>入学案内書などで情報公開し、オープンキャンパス等で入学希望者や保護者に配布・説明している。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用を開始している。</p> <p>この基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>本学では、目標とする資格や技術を明確に定め、その習得がより確実になる</p>

ようなカリキュラム編成をしている。

ロ. 教育理念、育成人材像や業界の人材ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

修業年限で、「企業が求める人材像」のレベルに到達するようにしている。

ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

カリキュラムは、各コースで目標とする資格の取得および企業の求める人材ニーズに対応するために年2回教育課程編成委員会を開催しており、外部委員の意見を参考にしてカリキュラム作成委員会において必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

例年、新入生就職セミナーを実施し、ビジネスマナー、就職ゼミナールやインターンシップなどの授業を行っている。また、企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にしている。平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学は職業実践専門課程の認定を受け企業等と連携して実践的な演習・実習を各コースで行っている。今後も社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要がある。

ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

1年次には約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携して行っている。また、定期的に企業と連携して講習会を行っている。

また、学内就職セミナー等で企業から回収したアンケート回答を基にした「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、動物関連業界を中心に多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。

ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、教育システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。

ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。

しかし、他の高等教育機関の科目との互換性については、まだ基準が整備されていないため、検討し規定する必要がある。

チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験の都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。

リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教職員を確保して

	<p>いるか</p> <p>学科の育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。また、学生による授業評価アンケートを実施し評価しており、普段からお互いに他の教員の授業を見学している。さらに、教員の専門性や教授力をより客観的に把握するため学生による授業評価アンケートを実施している。職員・非常勤講師の協業システムを構築するため業務終了時には業務報告を受け、役割分担のため校務分掌一覧を作成している。</p> <p>ヌ. 教職員の能力開発のための研修等が行われているか</p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により、最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p>この基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>本学では、就職率100%を目指している。就職担当者と各担任が連携して学生の指導にあたっており、動物系企業を中心に、動物系以外の民間企業にも正社員として多くの学生が就職を決めている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>資格取得については愛玩動物飼養管理士認定試験、愛玩動物看護師試験、全日本グルーミング検定試験、ドッグサイエンスアドバイザー試験、ビジネス能力検定試験（ジョブパス）、サービス接客検定試験、ペットフード/ペットマナー検定試験、家庭動物管理士試験等において資格取得および試験合格率の向上を図っており、今年も順調に合格者を輩出している。また、各検定試験において制度改正がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えていく。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ教職員が学生全員に目を配り、声をかけて、退学率の低減に努めている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、業界・企業研究、筆記および面接試験対策、インターンシップなどの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、様々な悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。</p>

	<p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の学業を全うさせるため、経済的諸問題の解決を支援する必要がある。そのために、特別奨学生試験、各種特待生制度、学費延納制度を設けている。令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として愛知県より確認された。引き続き次年度も確認されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部などのクラブ活動や体育祭、学園祭、球技大会などの学園行事が盛んである。これらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要である。本学では学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表を年2回、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をし、学生の指導に役立てている。その内容は、学務システムに記録している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>立志舎グループは「高校生の就職を応援します」と銘打ち、高校生のための就職セミナー、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。パソコンは5年毎に更新しているが、その他の施設・設備の更新計画は現在立てていないので、パソコン以外の施設・設備の更新計画を立てることを検討する。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>アジリティー大会やドッグショー等の見学、動物関連施設等の学外実習、インターンシップ、高齢者施設でのドッグセラピー活動等、旅行ペット研修を実施するなど十分な教育体制を整備している。</p> <p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>学校保健安全計画を作成し、防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に避難訓練等を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、X線装置を専用室で防護ボックス内に設置しており、定期的に漏洩</p>

	<p>検査を行っている。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>学生募集活動は、真実性・明瞭性・法令遵守の観点から具体的な数字を示すことや合格者の氏名（イニシャル表記）を公表することにより、志望者や保護者に信じていただける内容になっている。高校卒業後すぐに入学する者が多いので、その点に配慮した表現にもなっている。少子化時代にあるが、募集定員を満たすことが出来るように今後も志望者のニーズに合わせた学校運営を行っていく。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>民間就職者一覧・公務員試験合格者一覧は本人の了承を得て企業名・公務員採用試験名・氏名・出身校を掲載しているのは真実であることを伝えるためである。毎年単年度の資料を作成しているのも、今現在の学校の実態を志望者や保護者の方に正確に伝えるためである。入学者に対するアンケートを実施している。その結果、卒業生の活躍が入学にあたり参考になったという意見が多かった。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤に問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>中長期的な予測は難しいが現在の財務状況を見ると、主な貸借対照表比率や事業活動収支計算書比率は全国平均と比べ良好な数値であり、財政基盤は安定しているといえる。今後は詳細な財務分析を行ない、財政基盤をより安定させていきたい。</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>年度予算編成にあたっては学納金収入等の状況を見て予算配分可能額を設定している。中期的な入学者数の予測と事業計画との整合性が十分にとれた実効性のある中期計画を策定していきたい。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>年間スケジュール表に基づき、監査法人の公認会計士による監査が適時実施されている。</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。</p> <p>さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>在学生、その他利害関係者から情報公開の請求があった場合には個別に対応している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>

<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標方針に、法令遵守規定を作成し、教職員に徹底している。さらに必要に応じて、研修等に派遣したり資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策として、法令遵守規程を作成し実施している。</p> <p>また、学生に対しても法令遵守、道徳指導を適宜実施している。</p> <p>学生に対しては、専門課程便覧にソーシャルメディアガイドラインとハラスメント防止ポリシーを記載して指導している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も、覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っておる。</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上に公開している。</p> <p>この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>名古屋で開催される AJC キャットショー、JKC 中部ブロックトリマー競技会の会場として本学校舎を提供している。</p> <p>学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握している。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握している。</p> <p>今年度開催されたドッグイベントにボランティア希望の学生が参加した。</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>Canon 東海超音波実技セミナーや JKC 中部ブロックトリマー競技会、AJC キャットショーなどに学校の施設を貸し出している。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>

〔総括的な意見〕

各評価項目の評価は「適正」とであると承認を頂き、本学の取り組みについてご理解を深めて頂いた。

基準 6 教育環境では、ハ. 防災に対する体制は整備されているか。この項目について、震災時の避難所生活における同伴ペットについて、「人と共生ができるしつけが必要になってくる」とご意見を頂き、本学としても震災時における対応について、さらなる意識を高めていきたい。